	ンバリ	ング	授業科目名(科目の英文名) 区							【新主題】/(分野) 授業形式												
广	2113		投業件目右(件目の英文右) 日本史特講						区分 [州上医]/()	Ż.	対面											
	E142F0	06 (Spec	(Special Lecture of Japanese History)																			
		出版	対象年次	学如	~ 田	· 区	ナル体田オス主気	2/	り他に使用する言語			+口 业	工公能									
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	70	D他に使用する言語	担当形態												
選択		2	3	教育学部	後期	火2	日本語			単独												
	氏名 ,	八木 直樹																				
当																						
教																						
員	E-mail	n-yagi@o	ita-u.ac.jp	内線 7976	3																	
l				分野では、我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動が重要視されています。授業では、学生各自が選んだ中学校教科書の																		
			報告した後に、報告内容について質疑・討論を行っていきます。本授業の目標は、中学校教科書の内容、及び掲載されている様々な歴史資料を活用した授業開発が																			
の概	できる。	3ようになることです。																				
要																						
具体	的な到	達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7						
目	標1 教和	枚科書の内容に関係する文献・歴史資料を探すことができる。																				
目	標2 歴5	史資料が発信	言している情報	仮を読み取り、	それを教	科書の内容と	関連付けることができる。															
目	標3 教和	[科書の内容をわかりやすく、説明不足のないように説明できる。																				
目	標4 他有	の報告内容に対し、疑問点を質問することができる。																				
目標5																						
目標6										_			.									
目	標7																					
	標8									1			_									
且	標9									<u> </u>			.			_						
目標10									.													
						各DPへの関連	度(計10)				5	5										
	の内容																					
1	ガイダン	ンス																				
		討論1(古代	-																			
		討論2(中世	-																			
_		討論3(近世																				
		討論4(近代																				
		討論 5 (現代	-																			
		対論 6 (日本														-						
		し報告と討論																				
-		し報告と討論														\dashv						
		し報告と討論														\dashv						
		し報告と討論														\dashv						
		し報告と討論	#っ(現10) ⋒6(日本とt	H田 \												-						
				<u>□介ノ</u> :報告と討論 1	`											$\overline{}$						
				と報告と討論2																		
5		識の定着・			-	て、説明不足	 な点などを受講生・教員が質	問ェそなし								\neg						
1	ク B·音	見の表現・					題点を修正したうえで、再度	りまる	·													
ニ ン	テ C:応	用志向		直し報告を行っ	ってもらい	ます。		他														
グ		識の活用・	創告					D														
			-	が	事前学修	と、特に報告す	 者には入念な報告準備が必要で	です(35h)。								\neg						
		準備学																				
授業時間外		rm J																				
授業時間が																\dashv						
	定時間																					
字收 子 形																						
	ŀ	相完時間	슬計 45													\dashv						
想定時間合計 45 矢ヶ埼典隆ほか『新しい社会 歴史』(東京書籍、2023年、ISBN9784487123322)。														\dashv								
教科書																						
		文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』(東洋館出版社、2018年、ISBN9784491034713)。																				

参考書

成	評価方	討論への参加状況	割合	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標 7	目標	目標	目標 10
績	報告		70%										
価	質疑・	討論への参加状況	30%										
の方法及													
方													
及													
び													
評													
価割													
割合													
注意事項		なし。											
	備考	なし。											
リンク		URL											